

池田町木質バイオマス熱供給システム導入事業プロポーザル 審査基準シート

| 評価項目 | | 審査事項 | 説明 | 配点 |
|----------|-----------------|---|---|---|
| 事業趣旨の理解 | | 池田町の木望の森100年プロジェクトを理解した提案となっているか | 池田町における杉C材活用に資する構造となっているか、また運搬規模の想定が妥当か。 | 10/8/6/4/2 |
| | | 池田町の脱炭素実現ビジョンを理解した提案となっているか | ZEBreadyを目指した施設に対する熱供給である点、池田町の今後のバイオマス利用のモデルとなって普及させる意味で重要であることを理解しており、具体的提案があるか | 15/12/9/6/3 |
| 計画全体・一貫性 | | 計画全体の論理が一貫しており、説明されている内容の性能が発揮されているか | | 20/16/12/8/4 |
| 事業費 | | 上限事業費の範囲内での提案であり、かつ品質を保ちつつ安価なものとなっているか | | 10 |
| | | 設備の維持管理費が他社と比較して安くなっていると考えられるか | | 10/8/6/4/2 |
| | | 運営に要する人件費が他社と比較して安くなっていると考えられるか | | 10/8/6/4/2 |
| 設備内容 | 燃料投入 | 投入装置 | 燃料投入装置に関して、詰まりの起こりにくさ・安全性・雨天時のチップの劣化防止の工夫がされているか。 チップ受け入れ時の搬入動線について、安全性・効率性が考慮されているか。 | 10/8/6/4/2 |
| | | 燃料チップ供給システム | サイロの大きさは需要に応じたものになっているか。(最大1週間分保管可能)つまり等のトラブルが少なく円滑に稼働できるか。ボイラーの燃焼量に応じて、チップの供給を調整出来る機能があるか。 | 10/8/6/4/2 |
| | 熱需要への対応 | 2つの施設の熱エネルギー需要にあわせた設計となっているか | 熱需要の変動に対応できる熱供給システムとなっているか | 15/12/9/6/3 |
| | 熱供給システム | 熱源設備（ボイラー）について要求水準を見たしているか | 熱源設備の構成に関して、木質バイオマスボイラーと空冷式ヒートポンプチラー（化石燃料ボイラー含む）等のバックアップを自由に組み合わせやすいが、年間発熱量のバイオマス依存度（木質バイオマスボイラーによる発熱量÷（木質バイオマスボイラーと非木質バイオマスボイラーによる年間発熱量）×100）が60%以上とすること | 20/16/12/8/4 |
| | | 全体として熱供給システムが合理化されているか | 導管敷設の合理性、制御の合理性、内部腐食などへの対応、施設構造の安定性・耐久性 | 20/16/12/8/4 |
| | | 熱供給システムのメンテナンスの容易性や破断のリスクに対する考え方が明示され、合理的であるか | | 10/8/6/4/2 |
| | 蓄熱システム | 蓄熱タンクを有効に活用して熱供給を安定的に行える規模および制御ができていますか | 蓄熱タンクの仕様に関して合理性があるか。（過大・過小でないか） | 10/8/6/4/2 |
| | ボイラー・制御 | エネルギー需要変動への対応や、施設の効率化・合理化の観点から、ボイラの運転とその制御システムが合理的であるか | 供給施設における冷水・温水の需要変動に応じて、ボイラー・蓄熱タンク・ポンプ等の各設備が連動して稼働するものになっているか | 10/8/6/4/2 |
| | 冷水製造・制御 | 冷水製造システムは、求められる条件を満たすために、効率的で、安定的なものとなっているか | 吸収式冷凍機を利用しボイラーから冷水を製造するが、変換効率を考慮した性能になっているか。 | 15/12/9/6/3 |
| | 温水製造のバックアップシステム | 温水製造（ボイラーと蓄熱タンク）に不具合があった場合のバックアップシステムは十分考えられているか（機械故障時） | 熱源設備構成とも関連するが、冷水・温水製造関連する設備（ボイラー・吸収式冷凍機・バックアップ用ボイラー）が故障した場合でも、冷水・温水の製造に対応できるものであるか。 | 10/8/6/4/2 |
| | 冷水製造のバックアップシステム | 冷水製造（ボイラーと蓄熱タンクと吸収式冷凍装置など）に不具合があった場合のバックアップシステムは十分考えられているか（機械故障時） | | 10/8/6/4/2 |
| | 落雷への対応 | 設備設計の中での、落雷に対する考え方 | 北陸地方で頻発する落雷に対して、電気系統設計上で考慮してあるかまたは被害があった時でもメンテナンスで対応できるか（予備の機器を保管・応急対応可能か） | 5/4/3/2/1 |
| | システム全体の安定性 | 制御システム | 温水・冷水の需要変動（時間変動、日変動、季節変動など）に対応するためのシステムは、信頼できるものと考えられるか | 流量計・温度計等の各種計量機器の設置場所や設置個数の合理性、およびそれらをまとめた制御システム全体についての考え方 |
| 監視システム | | 早期にエラー等が発見できる監視システムであるか。システム全体のエラーに対する対応体制が望ましいものとなっているか。 (施設が無人の場合でも、対応できるものとなおよい。) | エラーの早期発見の体制（運転者側の負担はあってもよい）、発見時の改善・対応の考え方 | 20/16/12/8/4 |
| | | 熱販売量を明示するため、どれだけの熱を供給したかについてのデータ収集は可能となっているか。 | 補助金を活用した場合には、省エネ化について、報告義務がある。施設の光熱費を把握するためにも、供給熱量について、システムを用いて出力できるようになっているか。 | 5/4/3/2/1 |
| 事業実施体制 | 実績 | 池田町の地域熱供給システム構築を担うのに十分な実績を有しているか | 過去の実績において、苦労した点や失敗した点・改善点および今回の事業にどう活かそうとしているのか | 10/8/6/4/2 |
| | 遂行力 | 事業推進を行う体制・チームメンバーの意欲が信頼できるか | 事業趣旨の理解度・池田町に対する理解度について口頭で確認する。 | 20/16/12/8/4 |
| | その他 | 地元事業者の役割について | 参加要件に県内事業者もしくは県内に営業所がある事業者がいることを要件としているが、連合体の中で当該事業者がどのような役割を果たすのか。 | 10/8/6/4/2 |
| | | 別途選定される池田町の設計事業者（建築）および建屋建設事業者と意思疎通と相互協力を惜しまないか | 庁舎建設事業・バイオマス建屋建設工事・あそびハウス側改修工事と並行して各種事業を実施するため、役場の元各事業者間で情報共有や・協力して行うことについて口頭で確認する | 5/4/3/2/1 |
| | 工期以内での完成に問題がないか | 設備機械類の納期に関して問題ないか | 5/4/3/2/1 | |
| メンテナンス体制 | | 事業完了後のメンテナンス計画が具体的となっており、かつ、どの程度の負担が必要かについて明示されているか | 維持管理メンテナンス計画書（様式あり）について、その時期ならびに金額の合理性があるか。想定されるボイラーそのものの取り替え時期と取り替え方法についても口頭で確認。 | 10/8/6/4/2 |
| | | 設備構成内の長期納品設備の有無について、有の場合の想定対処方法。長期停止を回避するための考え方 | 通常納期が数か月かかる設備機器がある場合に、代理店が在庫を確保しておき、早急な対応が可能にする体制を構築している。もしくは、そもそも短い納期で不具合時に対応が可能であるのか。長期停止を回避するための、事業者としての考え方について現実的であるか。（メンテナンス・維持管理体制とも関連する） | 10/8/6/4/2 |
| その他 | | 施設運転開始後も、親身になってフォローする体制があるか | | 15/12/9/6/3 |
| | | | | 合計350点 |